

ガルダ・インドネシア航空 「GFF リバプール FC カード」を期間限定で発行

TYOGA-14-AUG/13

ガルダ・インドネシア航空(本社:ジャカルタ、インドネシア 社長兼最高経営責任者:エミルシャ・サタル)は、2013年7月19日(金)ジャカルタ ムリアホテルにて記者会見を実施しました。この会見では、2013年7月19日(金)~12月31日(火)の期間限定で発行する「ガルダ・フリークエントフライヤー(GFF) リバプール FC カード」についての発表を行いました。

リバプール FC のロゴがデザインされた「GFF リバプール FC カード」は、通常の GFF カード同様、ブルー・シルバー、ゴールド、プラチナムの4カテゴリーに分かれており、新たに会員登録いただくだけでなく、既に GFF 会員の方にもお申込みいただけます。また、リバプール FC のホームグラウンド、アンフィールドで行われる試合の観戦チケットやリバプール FC 選手のサイン付きグッズが当たるチャンスを始め、リバプールファンの皆様に喜んでいただけるサービスや特典を多数ご用意しています。

「GFF リバプール FC カード」の詳細に関しては、下記 URL を参照ください。

http://www.garuda-indonesia.co.jp/ga_news/news/7635.html

ガルダ・インドネシア航空とリバプール FC は、2012年9月に3シーズン(2012~2015年)に渡るパートナーシップ契約を結んでおり、リバプール FC がプレシーズンツアー2013 でジャカルタ・メルボルン・バンコク 3 都市を巡った際には、リバプール FC のロゴが機体にペイントされた特別塗装機を利用しました。



2013年7月19日(金)ジャカルタ ムリアホテルにて
左から国営企業担当国務大臣のダフラン・イスカン氏
弊社社長兼最高経営責任者エミルシャ・サタル
リバプールFCチーフオブコマースのビリー・ホーガン氏

GFFリバプールFCカードのデザイン

特別塗装機

ガルダ・インドネシア航空会社について:

インドネシア共和国を代表する航空会社。会社設立 1949 年。日本への運航開始は 1962 年 3 月。現在、成田・羽田・関空よりインドネシアへ週 28 便、直行便を運航中。2013 年 4 月現在、保有機体数は 106 機、平均機体年齢は 5.8 年。2012 年の日本路線の定時運航率 93.3%。インドネシアの文化や伝統をベースとした、五感で感じるインドネシア「ガルダ・インドネシア・エクスペリエンス」がサービスコンセプト。成田・関空発便では、機内にて到着ビザの発給と入国審査が完了する「機内入国審査プログラム」を実施中。日本発着便には日本人客室乗務員が乗務し、快適な空の旅の提供に努めている。2013 年 6 月、スカイトラックス社(英国の格付け会社)より「The World's Best Economy Class」を受賞。また、「The World's Best Airline」では、8 位に入賞。2012 年にも「The World's Best Regional Airline」「The Best Regional Airline in Asia」受賞。2014 年のスカイチーム正式加盟及びスカイトラックスの 5 スター認定獲得をめざす。